改訂履歴

第1版:2018年3月28日発行

第2版:2020年4月30日改訂

● 研究資料 第 415 号「全国を対象とした地震リスク評価手法の検討」

頁/行	改訂前	改訂後	
表紙/下段右		(2010 ~ 2039 年) 図の差替え	
149/			
左カラム 4行目		なお、市区町村単位のリスク評価はカテゴリー毎のリスク評価結果は算出していないため、「4.3.1(1)メッシュ単位の確率論的リスク評価」で算出したメッシュ単位の建物全壊棟数の期待値を各市区町村で集計して算出したカテゴリー別の全壊率の期待値も参考として示した.	追加
左カラム 8 行目	図 4.3.1-120 30 年超過確率 0.3% の全壊棟数分布	図 4.3.1-120 30 年超過確率 <u>0.1</u> % の全壊棟数分 布	訂正
左カラム 12 行目	図 4.3.1-124 30 年超過確率 0.3% の全壊率分布	図 4.3.1-124 30 年超過確率 0.1% の全壊率分布	訂正
左カラム 16 行目	図 4.3.1-128 30 年超過確率 0.3% の全半壊棟数分 布	図 4.3.1-128 30 年超過確率 <u>0.1</u> % の全半壊棟数分 布	訂正
左カラム 20 行目	図 4.3.1-132 30 年超過確率 0.3% の全半壊率分布	図 4.3.1-132 30 年超過確率 <u>0.1</u> % の全半壊率分布	訂正
左カラム 38~40 行 目	図 4.3.1-150 カテゴリー別全壊率 30 年期待値(1) 図 4.3.1-151 カテゴリー別全壊率 30 年期待値(2) 図 4.3.1-152 カテゴリー別全壊率 30 年期待値(3)	(参考)	追加
150/	☑ 4.3.1-118, ☑ 4.3.1-119	図の差替え	
151/	図 4.3.1-120 図 4.3.1-121	図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
152/	図 4.3.1-122, 図 4.3.1-123	図の差替え	
153/	図 4.3.1-124 図 4.3.1-125	図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
154/	図 4.3.1-126, 図 4.3.1-127	図の差替え	
155/	☒ 4.3.1-128☒ 4.3.1-129	図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
156/	図 4.3.1-130, 図 4.3.1-131	図の差替え	
157/	⋈ 4.3.1-132⋈ 4.3.1-133	図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
158 ~ 165/	図 4.3.1-134 ~図 4.3.1-149	図の差替え	
166/	☑ 4.3.1-150, ☑ 4.3.1-151	キャプション変更	
167/	図 4.3.1-152	キャプション変更	
$170 \sim 171/$	☑ 4.3.1-153 ~図 4.3.1-156	図の差替え	
173/			
左カラム 4行目		なお、市区町村単位のリスク評価はカテゴリー毎のリスク評価結果は算出していないため、「4.3.1(1)メッシュ単位の確率論的リスク評価」で算出したメッシュ単位の建物損失額の期待値を各市区町村で集計して算出したカテゴリー別の建物損失率の期待値も参考として示した.	追加
左カラム 8行目	図 4.3.1-159 30 年超過確率 0.3 % の建物損失額 分布	図 4.3.1-159 30 年超過確率 <u>0.1</u> % の建物損失額 分布	訂正
左カラム 12 行目	図 4.3.1-163 30 年超過確率 0.3 % の建物損失率分布	図 4.3.1-163 30 年超過確率 0.1 % の建物損失率分布	訂正

頁/行	改訂前	改訂後	
左カラム 22 行目	図 4.3.1-173 カテゴリー別建物損失率 30 年期待値(1)	図 4.3.1-173 カテゴリー別建物損失率 30 年期待値(1)(参考)	追加
左カラム 24 行目	図 4.3.1-174 カテゴリー別建物損失率 30 年期待値(2)	図 4.3.1-174 カテゴリー別建物損失率 30 年期待値(2)(参考)	追加
左カラム 26 行目	図 4.3.1-175 カテゴリー別建物損失率 30 年期待 値(3)	図 4.3.1-175 カテゴリー別建物損失率 30 年期待値(3)(参考)	追加
174/	図 4.3.1-157, 図 4.3.1-158	図の差替え	
175/	図 4.3.1-159 図 4.3.1-160	図の差替え, キャプション変更 図の差替え	
176/	図 4.3.1-161, 図 4.3.1-162	図の差替え	
177/	図 4.3.1-163 図 4.3.1-164	図の差替え, キャプション変更 図の差替え	
178 ~ 181/	☑ 4.3.1-165 ~☑ 4.3.1-172	図の差替え	
182/	☑ 4.3.1-173, ☑ 4.3.1-174	キャプション変更	
183/	☑ 4.3.1-175	キャプション変更	
185/		117727	
左カラム 26 行目	図 4.3.1-180 30 年超過確率 0.3 % の死者数分布	図 4.3.1-180 30 年超過確率 0.1 % の死者数分布	訂正
左カラム 30 行目	図 4.3.1-184 30 年超過確率 0.3 % の死者率分布	図 4.3.1-184 30 年超過確率 0.1 % の死者率分布	訂正
左カラム 34 行目	図 4.3.1-188 30 年超過確率 0.3 % の重傷者数分布	図 4.3.1-188 30 年超過確率 0.1 % の重傷者数分布	訂正
左カラム 38 行目	図 4.3.1-192 30 年超過確率 0.3 % の重傷者率分布		訂正
右カラム 10~16	図 4.3.1-210 カテゴリー別死者率 30 年期待値(1)	図 4.3.1-210 カテゴリー別死者率 30 年期待値(1) 1	追加
行目	クカーブ(2) 図 4.3.1-215 都道府県庁所在都市の死者率のリス クカーブ(3) 図 4.3.1-216 都道府県庁所在都市の死者率のリス クカーブ(4)	図 4.3.1-211 カテゴリー別死者率 30 年期待値(2) ¹ 図 4.3.1-212 カテゴリー別死者率 30 年期待値(3) ¹ 図 4.3.1-213 都道府県庁所在都市の死者率のリスクカーブ(1) ² 図 4.3.1-214 都道府県庁所在都市の死者率のリスクカーブ(2) ² 図 4.3.1-215 都道府県庁所在都市の死者率のリスクカーブ(3) ² 図 4.3.1-216 都道府県庁所在都市の死者率のリスクカーブ(4) ²	
右カラム 35 ~ 44 行目	・都道府県庁所在都市の死者率のリスクカーブを描くと、静岡市葵区、高知市といった南海トラフの地震の影響を強く受ける地域では、高い超過確率でも死者率が大きくなる形状となった。一方、金沢市、大阪市中央区といった近傍に活断層のある市区町村では、超過確率の低いところから急激に死者率が大きくなる(裾が伸びる)形状となった。このように、リスクカーブの形状は、地域の脆弱性、地震ハザードにより様々な形状となった。		削除
右カラム 最下部		1:市区町村単位のリスク評価はカテゴリー毎のリスク評価結果は算出していないため、「4.3.1(1) メッシュ単位の確率論的リスク評価」で算出したメッシュ単位の死者数の期待値を各市区町村で集計して算出したカテゴリー別の死者率の期待値を参考として示した。 2:市区町村単位の死者率のリスクカーブは、建物全壊率とは異なり、特定の超過確率における死者率のみを計算している。このためリスクカーブの形状を示すことは困難なため、参考として、「4.3.1(1) メッシュ単位の確率論的リスク評価」で算出したメッシュ単位の死者数を市区町村で集計して作成したリスクカーブを示した。	

頁/行	改訂前	改訂後	
186/	図 4.3.1-178, 図 4.3.1-179	図の差替え	
187/	図 4.3.1-180 図 4.3.1-181	図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
188/	図 4.3.1-182, 図 4.3.1-183	図の差替え	
189/	図 4.3.1-184 図 4.3.1-185	図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
190/	図 4.3.1-186, 図 4.3.1-187	図の差替え	
191/		図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
192/	図 4.3.1-190, 図 4.3.1-191	図の差替え	
193/	⋈ 4.3.1-192⋈ 4.3.1-193	図の差替え、キャプション変更 図の差替え	
194 ~ 201/	図 4.3.1-194 ~図 4.3.1-209	図の差替え	
202/	図 4.3.1-210 , 図 4.3.1-211	キャプション変更	
203/	図 4.3.1-212	キャプション変更	
204/	図 4.3.1-213, 図 4.3.1-214	キャプション変更	
205/	図 4.3.1-215, 図 4.3.1-216	キャプション変更	
219/	図 4.3.2-20	図の差替え	
220/	図 4.3.2-22	図の差替え	
221/	図 4.3.2-23	図の差替え	
307 ~ 309/	☑ 5.4.3-18 ~図 5.4.3-22	図の差替え	
330 ~ 332/	図 5.4.4-18 ~図 5.4.4-22	図の差替え	